

日本共産党鴻巣市議団
 竹田えつ子 すわみつえ
 ☎542-7072 ☎507-4151
 FAX542-7101 FAX596-9440

税金の使われ方をチェック 日本共産党

増え続ける鴻巣市の借金(地方債)
 有利な借金(起債)の7割を交付税参入だからとして、合併特例事業を限度額327億円まで借りて公共事業を進めています。
 今後、吹上北新宿に生涯学習センターの建設をはじめ、鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業、ごみ焼却施設、三谷橋大間線道路など大型公共事業が予定されています。

福祉予算削る一方で基金の積み立てを増やす
 消費税は、福祉に使われると増税されたいにも関わらず、鴻巣市では、難病患者手当の8割カットを初め、75歳から5歳刻みの敬老祝金の半減。前期高齢者の窓口負担が2割に。重度心身障がい者・子ども・一人親家庭の医療費食費の自己負担、介護保険料の10%の値上げ、保育所の時間外保育料の徴収など、市民負担を増やしたのが昨年度でした。

増える借金(普通会計=一般会計、区画整理事業)

	2005年	2015年
鴻巣市全体の借金	312.4億円	520.6億円

主な基金積立金(ため込み金)

	2005年	2015年
財政調整基金	11.4億円	26.7億円
減債基金	360万円	12.3億円
合併振興基金	0円	29.8億円
国保支払準備基金	106万円	11.3億円

県内で一番多い約11・3億円の国保の基金をはじめ、鴻巣市には、約96・7億円の基金があります。



市民のくらしが大変な時こそ、基金を積み立てるのではなく、市民のために使うよう求め、日本共産党は、一般会計をはじめ国保、介護、上下水道会計に反対しました。

法律・生活相談

毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
 法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ

「鴻巣市地域医療体制整備基金条例」案について

地域医療体制の整備に要する経費の財源に充てる目的で基金を創設していく条例案が提出されました。

市は埼玉県が策定する第7次医療整備計画を注視しながら取り組む意向です。

総合病院誘致は市民の皆さんの長年の願いです。しかしながら、市には財政調整基金や合併振興基金があり、

またもやアネックスビルが雨漏り

8月27日の集中豪雨で、アネックスビル3階のエスカレーター横の窓際にバケツが3個おいてあり、バケツ半分くらい水が溜まっていました。雨漏りの原因と対応について、竹田えつ子議員が質問しました。

市は、雨漏りの原因として、東日本大震災で外壁のコンクリートパネルにひびが入り、そこから雨水が浸透したと考えられる。昨年3月に窓周りをコーキングする修繕を行ったが、完全に改善されておらず、11月をめどに1500万円の費用で東側全面の外壁修繕を行うと答えました。

アネックスビルは、2011年東日本大震災で4階天井の配管が壊れ、映画館や中央図書館が水浸しになりました。

2013年6月7日にも、原因が不明ですが、4階天井から水が流れだし、中央図書館が臨時休館しました。しっかり対策をとってほしいものです。



12月定例会日程(予定)

- 11月21日(月) 請願締切(正午)
- 11月25日(金) 本会議
- 11月30日(水) 本会議
- 12月2日(金) 文教福祉常任委員会(竹田議員)
- 12月5日(月) 政策総務常任委員会(すわ議員)
- 12月7日(水) 8日(木) 12日(月) 13日(火) 一般質問
- 12月15日(木) 本会議 討論・採決

ぜひ傍聴をお願いいたします。



本当がわかる明日が見える

しんぶん 赤旗

- 毎日配達の日刊紙/月3,497円
- 毎週配達の日曜版/月823円

憲法、社会保障、原発、雇用、TPP...
 「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。





竹田えつ子議員

子育ても老後も安心のまちづくり 税金は市民のくらし・福祉に

安全・安心な まちづくりのために

問 この間の台風や集中豪雨により道路冠水する場所を特定し、安全安心のために市民に知らせることを求めます。

答 防災情報として、過去に道路冠水した主な場所を「内水ハザードマップ」としてホームページに載せています。

(内水ハザードマップ＝集中豪雨で下水道の排水能力が足りず浸水する箇所を示したもの)

国道17号線鴻巣警察署前の 水たまりの改善を

問 国道17号線鴻巣警察署前の交差点は、自転車レーンも整備されましたが、その部分が低く雨水がたまる為、車が通る度に水はねし、歩行者も大変です。改善を求めます。

答 北本県土整備事務所が、9月末を目途に、柵を設置し、表面排水が早くできるよう工事を行っていきます。

子育てを応援する鴻巣市に

問 保育所給食の主食について補助し、子育てを応援する考えはありますか。

答 3歳以上の子どもは、主食を持参することのない完全給食として提供しています。公立保育所では月1000円、民間保育所では1000円から1600円を保護者に負担をしていただいております。在宅でも食事の費用はかかります。したがって主食費に補助する考えはありません。

ごみ焼却施設建設は 過大にしないこと

問 1日のごみ処理量249tは、2023年の人口ピーク時を基準にしており、人口減少が前提の計画は過大です。この年はごみピットにストックしておくなど工夫して、もつと処理施設を縮小し、後年度に負担を少なくするよう求めたいです。

鴻巣市東口駅通り地区 開発事業は

問 この地区の事業計画が、どんどん変わっていくこと自体、計画に無理があると思います。8月30日の権利者全体説明会では、事業計画費が70億円から78億円に増えています。増えた要因は何ですか。

答 権利変換計画の作成にあたり、再度権利者の意向を確認したところ、金銭給付を受ける人が増えたため、補償費の増大や労務費の上昇によるものです。



この他に、入学準備貸付金、奨学資金貸与条例を見直し給付制度にすることなどについて質問しました。

これからも皆さんの声を届け、子育ても老後も安心、大事な税金は市民のくらし・福祉に使うよう求めていきます。

ですので全員を対象とすることは考えておりません。

問 吉見町・川島町では他市町の医療機関を利用したときも窓口負担がありません。当市においても他市町受診の際の窓口負担をなくしていく考えはありますか。

答 窓口負担を無料化した自治体に国が国庫補助を減額するペナルティを科しています。本来、国が全国一律で行うものと考え、機会を捉えて国に要請をおこなっていきます。

制度が変わっても 安心の介護サービスを

問 2017年4月より要支援1、2の方が利用する訪問介護・通所介護が総合事業に変わります。制度が変わっても、高齢者は今までどおりのヘルパーさんやデイサービスを願っています。体制は整っていますか。

答 現在、サービスを提供している「指定事業者」すべてが「みなし指定事業者」として行いう確認ができています。

引き続き安心介護を求めていきます。



すわみつえ議員

子どもの教育・医療の拡充 介護サービスの体制整備を

「小中学校統廃合しないで」 の声を届ける

本年8月7日に第3回小中学校適正規模・適正配置審議会が開催され、また第6次総合振興計画審議会においても教育の分野で審議されました。議会では「行政が一方的に進めるものではない」と答弁が繰り返されています。市民の声をどのように聞くのかたどりました。

問 市が、小規模校で実践してきた「一人ひとりに行き届いた教育」が、今求められています。小規模校を残し充実・発展させていく考えがありますか。

答 小規模校が悪いとは思っていません。(残すと明確な答弁なし)

問 川里地域の小中一貫教育を、施設併設型一貫校で行うメリット・デメリットは何か。

答 メリットは一般的に言われている

子ども医療費無料化の 拡充を求める

問 多子世帯のみでなく全ての18歳までの子どもに医療費無料を拡大することを求めます。

答 目的は少子化対策・多子世帯対策

「中一ギャップ解消」「不登校の解消」。デメリットは「学校が遠くなる」「小学校高学年の活躍の場がなくなる」など色々あると思います。

問 専門家の意見を聞くことが重要です。「教育の専門家」「自治会長」の意見を聞くことへの答弁を願います。

答 重要な施策として認識しています。意見交換会は未定ですが、アンケートを笠原地区の就学児童・未就学児童の保護者に10月以降行います。教育の専門家や自治会長から意見を伺って丁寧に取り組んでいきます。